

ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



▼ 22 ▲



やなぎだ
柳田 美華さん

みか
美華さん (郡山市)



水ながら繰り返しを繰り返す
水耕栽培に挑戦する柳田さん

▲ふくしま農業女子ネットワーク(愛称:百笑一姫)の思いや農作物、ネットワーキングの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加

▼メンバーや応援団となる企業・団体も応募を受け付けています。URLは<https://www.fuku-girl.jp/> 問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(52)17840へ。

廃材燃料に水耕栽培

農業の世界に入ってから間もなく2年。私にとって農業は正直、汚れる作業をするきっかけとなったのは、産廃棄物の中間処理業を経営する父からの「社長になるか？」の一言でした。最初は半信半疑。保育士を続けたかったこともあり「5年間、保育士をしてからね」と軽く返事をしてしまいました。

そして5年後。本当に保育士を辞めた私に、父は「前は、農業の方の社長になれ」と。まさかの農業をやることになりました。父は、中間処理業で出た廃材を木製チップにし燃料に変え、ハウスで水耕栽培をしたい以前から考えていたように学びました。小ネギ(葉ネギ)と小松菜を栽培することに決め、昨年8月からは栽培を始めています。

と過ぎてしまいました。そんな私が農作業をするきっかけとなったのは、産廃棄物の中間処理業を経営する父からの「社長になるか？」の一言でした。最初は半信半疑。保育士を続けたかったこともあり「5年間、保育士をしてからね」と軽く返事をしてしまいました。

そして5年後。本当に保育士を辞めた私に、父は「前は、農業の方の社長になれ」と。まさかの農業をやることになりました。父は、中間処理業で出た廃材を木製チップにし燃料に変え、ハウスで水耕栽培をしたい以前から考えていたように学びました。小ネギ(葉ネギ)と小松菜を栽培することに決め、昨年8月からは栽培を始めています。

初めの栽培システムと規模の大きさに驚いていましたが、今では「おいしい」と言っていただけのことで何よりうれしく、やりがいを感じています。これからも家族と従業員をはじめ、たくさんの人に支えられながら頑張りたいと思います。

ハウス2棟(約780平方メートル)のハウスから農業に転職し、有隣舎社「光の園」で小ネギや小松菜、アフリカナスなど「プロマル」郡山市出身。保育士から農業に転職し、市内の直売所やイベントなどで出店予定。